

# 比較地域特殊研究

担当者 梅野 巨利

開講時期 通年 単 位 4

特殊研究は1～3年次の3年間を通して行われる演習科目です。

## ●講義の概要

各自の研究テーマに沿って研究報告と議論を積み重ね、最終的には博士論文の完成を目指す。資料収集の方法、資料の分析、論文の構成と記述方法など、受講生それぞれの研究進捗度合に応じて講義を進める。

## ●講義の到達目標

オリジナリティのある質の高い博士論文を作成すること。

## ●講義計画

受講生の研究報告をもとに議論を深め、博士論文の内容の精緻化と論文としての完成度を高めていく。学会報告や学会誌への投稿も行うことで、外部からの、より多くのコメントや知見を得ながら、博士論文の完成を目指す。

1年次は、研究テーマの絞り込みとそのために必要な先行研究レビューを中心とする。

2年次は、研究対象への実態調査やフィールドワークを中心に行い、それらの結果を学会発表や論文の形で取りまとめる。

3年次は、論文全体の構成や論旨一貫性に重点をおいて、博士論文の全体を書き上げていく。

## ●成績評価基準と方法

### ①評価方法

レポート発表 (70%)

研究報告 (30%)

### ②評価基準

- ・レポート発表内容と方法が論理的で明確であるか。
- ・研究報告が論旨一貫性をもち、独自性が出たものになっているか。

## ●テキスト又は参考文献

適宜紹介・指示する。

## ●受講上の留意点

博士論文は、これまでの研究の積み重ねの結果である。根気と地道な努力が求められる。すぐに成果を求めず、じっくり深く考え、論文作成に取り組んでもらいたい。